

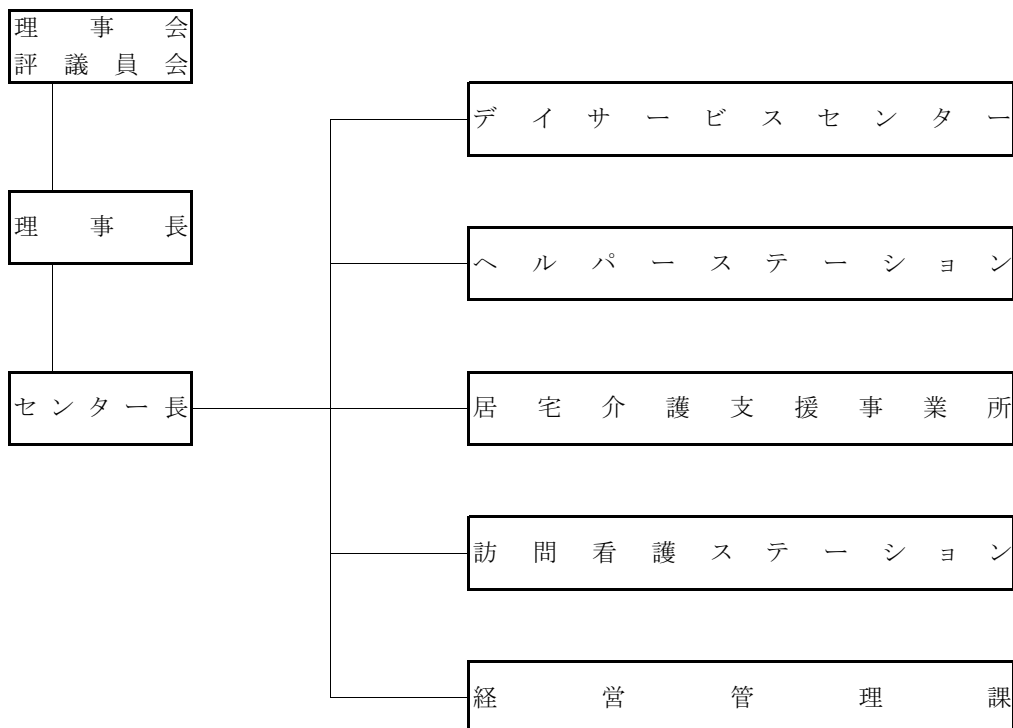
青葉ハーティケアセンター

〔Ⅰ〕施設機構

1. 現 況

名 称	青葉ハーティケアセンター
開 設 年 月 日	1999年12月1日
所 在 地	札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号
事業内容及び付帯事業	①通所介護 ②訪問介護 ③居宅介護支援 ④訪問看護
利 用 定 員	通所介護 一般型50名・認知症型12名

2. 組 織 図



3. 諸会議・委員会

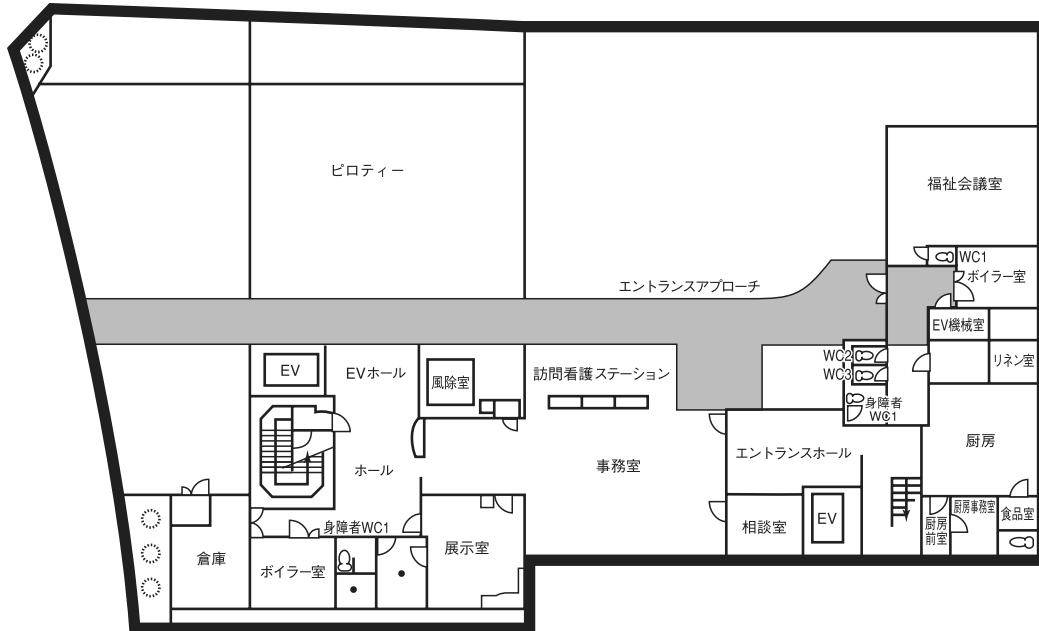
会議名	開催月	会議内容	参加者
運営会議	月1回	施設運営にかかわる情報交換や諸問題の提起及び最重要案件の審議、採決を行う	副主任以上全職種
居宅職員会議	月1回	居宅介護支援業務の質向上と円滑化にむけて、情報交換や諸問題の提起、審議、採決を行う	介護支援専門員
通所介護職員会議	月1回	通所介護業務の質向上と円滑化にむけて、情報交換や諸問題の提起、審議、採決を行う	看護師・介護職員・生活相談員・機能訓練指導員
給食会議	月1回	ご利用者さまに満足していただける食事を提供するため委託業者を交えて、情報交換や諸問題の提起、審議、採決を行う	看護師・介護職員・委託業者(担当者・栄養士)
訪問看護職員会議	月1回	訪問看護業務の質向上と円滑化にむけて、情報交換や諸問題の提起、審議、採決を行う	保健師・看護師
訪問介護職員会議	月1回	訪問介護業務の質向上と円滑化にむけて、情報交換や諸問題の提起、審議、採決を行う	訪問介護員

〔Ⅱ〕建物概要

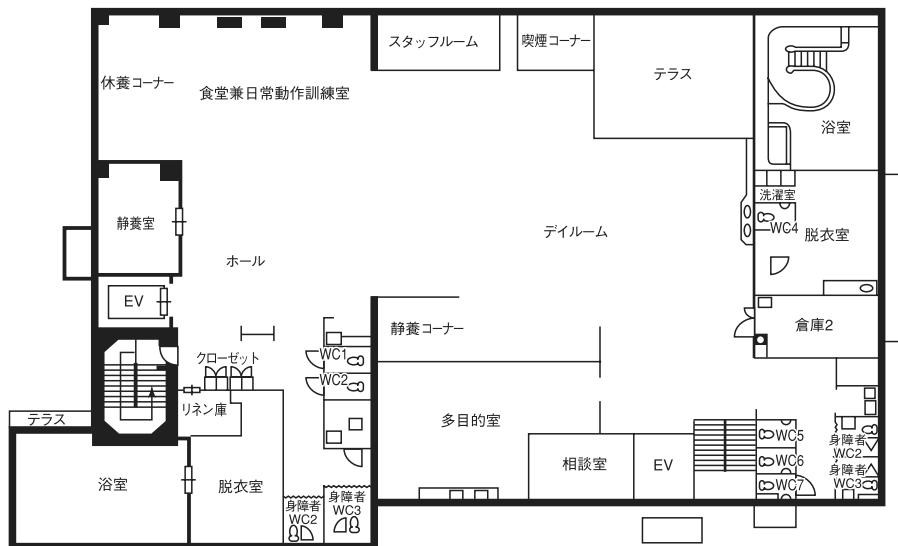
建物の概要

建物構造	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建
建物延面積	1,608.60㎡（一部借受）
敷地面積	1,468.05㎡（一部借受）

1 F



2 F



2006年度 事業報告

青葉ハーティケアセンター

【通所介護：一般型50名、認知症型12名】※2006年度一般型55名

	目 標	実 績
延利用者数（一般型）	<u>10,806 人</u>	<u>10,531 人</u>
〃 （認知症型）	<u>2,338 人</u>	<u>1,519 人</u>
一日平均利用者数（一般型）	<u>43.9 人</u>	<u>42.8 人</u>
〃 （認知症型）	<u>9.5 人</u>	<u>6.2 人</u>

要介護度状況 一般型：平均要介護度 1.6（要支援1・2を除く）

認知症型：平均要介護度 2.1（要支援1・2を除く）

【訪問介護】

	目 標	実 績
延派遣回数（介護保険）	<u>4,248 回</u>	<u>3,213 回</u>
（介護保険外）		<u>0 回</u>
一日平均利用回数（介護保険）	<u>13.8 回</u>	<u>10.4 回</u>

要介護度状況：平均要介護度 1.5（要支援1・2を除く）

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>2, 5 8 7 件</u>	<u>2, 1 3 8 件</u>
（うち介護予防）		<u>6 5 件</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1. 8</u> （要支援1・2を除く）	

2006 年度 事業計画

青葉ハーティケアセンター

1. 基本方針

2006 年度の青葉ハーティケアセンターは、介護報酬改訂により大きな減収となるため変革の年となります。厳しい経営環境を生き抜くために、「通所介護事業」、「居宅介護支援事業」、「訪問看護事業」、「訪問介護事業」の 4 事業で介護予防サービスに組み込み、「小規模多機能型居宅介護」等も視野に入れて各事業を再構築していきます。また、CSR 経営を推進しご利用者さまや地域、そして職員に満足と安心を広げ、「信頼される施設」、「地域に根ざしたすべてのニーズに応えられる施設」を目指します。

2. 具体的目標

- ① 「健全経営」を目指します。
 - ・「通所介護」、「居宅介護支援」は、減算にならないよう調整しながら最大限の収益を目指します。
 - ・「訪問看護」は、リハビリのニーズに応えるため受け入れ体制を強化し収益の拡大を目指します。
 - ・「訪問介護」は、サービス担当責任者を含めて 10 名体制まで事業規模を拡大していき収益の拡大を目指します。
 - ・経費の削減を行い支出の減少を目指します。
- ② 「ご利用者さま及び職員の満足度」を高めます。
 - ・他事業所との差別化、業務の改善を行い質の高いサービスを提供します。
 - ・計画的に研修に参加し職員の質を高めて自己実現の場を創出します。
 - ・コンプライアンス経営を中心にして CSR 経営を進めます。
- ③ 「中期計画」を見直し達成に向けて邁進します。
 - ・「通所介護事業」、「居宅介護支援事業」が存続できるよう再構築します。